

①事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立入船小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	児童の反応
12 【社会】	地域 教室	『わたしたちのまちを見つめよう』 ・自分たちのまちを探検し、絵地図にまとめる活動を通して、地域の特徴を理解する。		自分の家の近くについてはよく知っているが学区内のその他の地域には知らないことが多くあり、関心を高めていた。特に、お店や家の前、公園の置き物に着目していた。
14 【総合】	地域 教室	『結成！まちのわくわく・おもしろポイント調査隊！』 ・社会科のまち探検を通してもっと調べたいと感じたまちのわくわく・おもしろいポイントを探る。		いつも目にしてあるものや新しく発見したものについて、おもしろいと思ったことなどを、そこに住む人に詳しく聞いてみたいという意識をもった。
16 【総合】	地域 教室	『もっとさぐるう！わくわく・おもしろポイント』 ・見つけたわくわく・おもしろポイントについて、詳しく探る。	 <div data-bbox="687 1727 1118 1924" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">見つけたわくわく・おもしろポイントについて、そこに住む方々にインタビューをしたり、繰り返しお話をしに行ったりしてかわる。</div>	普段からよく来ているところでも改めて何度も来る間に、新しい発見をしたり、特にそこに住む方の思いについて気付いたりしたことで、「なんだか自分たちにとって特別な場所」という意識をもったようだ。

<p>26 【総合】</p>	<p>地域 教室</p>	<p>『作ろう！入船わくわく・おもしろガイドブック』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探ってきたまちのわくわく・おもしろポイントを、ガイドブックにしてまちの人たちに伝える。 ・まちのおもしろさが伝わるガイドブックとはどんなものかを検討する。 	<div data-bbox="691 264 1125 465" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ガイドブックの内容・途中経過を、プロの編集者の方に見ていただき、アドバイスをいただく。それをもとに、よりよいものを目指して、また作成していく。</p> </div> <div data-bbox="691 495 1125 752" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地域の方々が元から知っているようなことではなく、普段から生活している地域のことだけれど、なかなか知らない、読む人がおもしろくてわくわくするようなガイドブックを目指し、作成していった。</p> </div>	<p>自分たちが探ってきた、地域の方もあまり知らないであろうわくわく・おもしろポイントを、ガイドブックにして伝えたいという思いが出てきた。作る過程においては、プロの方からアドバイスをいただきながら、自分たちしか知らないとか、自分たちが素直に感じたことを入れていこうという意識をもった。</p>
<p>8 【総合】</p>	<p>地域 校内</p>	<p>『入船の魅力について考え、地域の方々につないでいこう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のお店に置いていただいたり、学校の図書室に置いたりして、より多くの人にわくわく・おもしろポイントを身近に知っていただけるようにする。 	<div data-bbox="703 1117 1096 1413" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="719 1464 1070 1624" data-label="Image"> </div>	<p>自分たちが作ったガイドブックの、特に言葉の部分を読んでほしいという思いが強かった。地域の方のお店などに置いてもらい、自分たちの作ったものがどう感じられるかを気にかけていた。</p>

②学習指導案

単元名	『入船わくわく・おもしろガイドブックプロジェクト』 (全76時間 社会12時間 総合的な学習の時間64時間)
単元目標	地域の魅力を探る活動や、魅力を伝えるガイドブックを作る活動を通して、そこに生活する人々の思いに気付くとともに、地域のよさを感じて愛着をもち、自分たちも地域の一員という意識をもって、活動していくことができる。
本時目標 (51 / 76)	これまで作ってきたガイドブックの内容を互いに見合ったり、編集のプロの方から、アドバイスをいただいたりすることを通して、よりよいガイドブックづくりについて話し合う。
準備品 実施場所等	テレビ・パソコン 教室

学習の流れ (51 / 76)

学習活動	教師の指導・支援	評価
○本時のめあてを確認する。		
読む人が、よりわくわくするガイドブックになるように、意見を出し合おう。		
○それぞれの担当ページの途中経過を発表し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ラーメンやさんのゴリラ ・コンビニの横のひみつのとびら ・屋上からのながめ ・物産センター ・ライオンの公園 ・道路の名前 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分たちの目指すもの」と常に照らし合わせて発言するよう促す。 ・皆の意見やプロの方のお話を聞くことで、自分の考えを深めるよりどころとなるように声かけをする。 	評：目指す内容になっているかどうか話し合う中で、互いの意見をすり寄せ、よりよい方法を考える。
○互いに意見を出し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・よいところ ・改善点 		
○プロの方のアドバイスをいただく。 <ul style="list-style-type: none"> ・目指すガイドブックの内容になっているか ・読む人がどう感じるか 		
○皆の意見やプロの方のご意見をもとに、今後の活動の計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・改善点をふまえて、どのようなものにするか 		

③実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

子どもたちが、地域の「もの」だけではなく、「ひと」に十分にかかわって活動することができるように検討しました。

(2) 実施にあたり苦労した点

ガイドブックの印刷に関して、今回地域の印刷会社さんにかかわっていただいたのですが、子どもたちが作成する上で、何度も練り直したり訂正したりしたので、締め切り直前の修正にも対応していただき、その面でお手数をおかけしてしまいました。

しかし、印刷会社さんが子どもたちの活動の内容を理解してくださり、最後まで快く引き受けてくださって、本当にありがたいことでした。

活動自体が今年度末までということ、限られた期間でやることの難しさはありました。

(3) 児童の反応

初めは、学校の授業で、自分たちのまちの面白い・わくわくするところを探す、という活動そのものを楽しみを感じていたようです。

しかし、地域の方々とのかかわりを重ねるにつれて、自分たちで交渉をし、自分たちで活動を進めていく、ということに意欲が高まっていました。それまでは、自ら質問を考えて外部の大人の方に取材をお願いしたり、改まってお話をうかがったりする機会はほとんどありませんでした。それらのことが自分自身の力でできるようになったこと、そして仲間と共に取り組んできたということが、達成感につながったようです。

また、地域の方の思いに気付いたことで、「ぼくは大人になったら〇〇さんのお店で働くんのだ!」「〇〇さんを手伝うんだ!」という児童もあり、地域の方々の生き方にふれることができたのは、担任として大変嬉しいことでした。

(4) 担当教諭の変化

年間を通して地域の方々にかかわっていただけることは本当にありがたいことでした。お仕事でお忙しい中子ども達の活動のために時間を割いていただき、子ども達の活動の質を高める声かけを多々してくださり、大変感謝しています。

今後も地域とつながる子ども達の育成を目指して、実践に取り組んでいきたいと思えます。

(5) 今後の課題と取り組み

子ども達自身が、今回の活動を通して、地域の中でこれから何をしていくか、どのようにかかわっていくのかということ、継続的に意識していくようにすることが今後の課題です。学年が変わればまた、クラスのメンバーも変わるので、今年の活動が終われば終わりということになりがちですが、毎年、そしていずれは大人になっても、将来的にも、地域とつながっていく子ども達の育成を目指して実践する必要があると考えています。